

科目名	ものづくり実習 4							年度	2025
英語科目名	Fabrication Practice 4							学期	後期
学科・学年	建築学科 2年次	必/選	必修	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	升水 健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
<b>【科目の目的】</b> ・公共建築物に合う家具をデザインし、制作する									
<b>【科目の概要】</b> 多くの人々が使う公共建築物の家具をデザインし制作を行う。人体系の寸法を大切に作品の強度等も考慮に入れてデザインを行う。									
<b>【到達目標】</b> A. 家具の置かれる場所は使い方が適切である B. デザインや強度が耐久性に富んでいる									
<b>【授業の注意点】</b> 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	家具の置かれる場所は使い方が適切である			家具の置かれる場所は使い方が適切である				家具の置かれる場所は使い方が適切である	
到達目標 B	デザインや強度が耐久性に富んでいる			デザインや強度が耐久性に富んでいる				デザインや強度が耐久性に富んでいる	
<b>【教科書】</b> 配布資料による									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 成果品等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ものづくり実習 4			年度	2025		
英語表記		Fabrication Practice 4			学期	実習		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価		
1	題設定説明	調査	公共建築に入る家具の種類、デザインを調査し自分のデザインに取り入れる	家具のデザイン史を知る。	2			
2	調査1				2			
3	調査2				2			
4	調査3				2			
5	デザイン1	デザイン	設計課題に似合う公共的な家具をデザインする	目的を明確にし、作品に合う家具をデザインする	2			
6	デザイン2				2			
7	デザイン3				2			
8	デザイン4				2			
9	デザイン5				制作用の図面を作成する	正確に図面を引く	2	
10	制作1	制作	正確に部材を切り出す	道具を適切に使い、部材を切り出す	2			
11	制作2				2			
12	制作3				切り出した部材を組み立てる	組立の順序などを考え、正確に家具を組み上げる	2	
13	制作4						2	
14	制作5				塗装する	家具に表面塗装を施す	2	
15	発表会	発表		他者のデザインから自分と違う世界観を感じる	2			
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他								
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった								
備考 等								